

平成31（令和元）年度 事業報告書

平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構

1 事業の成果

本法人は、医療の質や効果を科学的に評価する研究を推進することを通じて、医療を支える医療者を元気にし、医療の質を高め、国を支える国民の健康・QOL・安心を高めることを目指している。平成31（令和元）年度は以下に示すような活動を実施した。

1) 研究事業：疫学研究、臨床研究の企画・実施・解析・論文化、「エビデンスー診療ギャップ」を測定・改善する研究、診断法の評価と研究（診断支援ツールを含む）、QOLなどのPRO（Patient-Reported Outcomes）測定尺度の開発と検証、個人及び団体に対する研究助成及び寄附事業

- ・健康に関連する要因を分析する研究（J-DOPPS-CLIP、MBD-5D研究）
- ・大規模疫学研究の企画データ解析（福島運動器臨床疫学研究）
- ・臨床研究の企画・解析・論文化サポート
- ・研究データ収集並びに施設参加の推進（透析診療ネットワーク）
- ・当法人以外の臨床研究に対する倫理審査の提供

2) 教育事業：臨床研究者の育成事業、診療の質を高める教育活動、臨床研究者の育成、また診療の質を向上させる書籍の出版

- ・臨床研究てらこ屋セミナーの開催（医療関係者対象）
- ・医療者のための系統的臨床研究オンライン学習プログラム
- ・海外大学の臨床研究学習プログラムの日本への普及推進
- ・臨床研究計画立案を助けるアプリケーションの提供
- ・書籍出版販売（臨床研究セミナーテキスト、ほか）

3) QOL事業：SF-36をはじめとするQOL尺度の提供、QOL尺度の適切な利用を促進する活動（測定ツール・マニュアルの提供、セミナーの企画と実施など）、コミュニケーション事業（ホームページ運営、機関紙の発行）

- ・QOL尺度の利用を促進する活動

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	事業費の金額 (千円)
-----	------	------	------	--------	---------------	----------------

研究事業※ 1	胃食道逆流症の症状尺度の開発	新規	法人事務所 および 研究協力施設	4人	患者 1,000万人	2,640
	胃食道逆流症の治療モニタリングのための症状尺度の開発を行っている。本年度、研究が中止となり、そこまでの実施報告を作成した。					
	J-DOPPS-CLIP	継続実施	法人事務所 および 研究協力施設	5人	患者30万人	7,740
	世界12カ国が参加した国際共同研究Worldwide-DOPPSの日本におけるデータ（J-DOPPS I～V）を活用したデータ解析と論文の作成（J-DOPPS-CLIP事業）を行なっている。本年度は8件の論文が国際医学雑誌に受理された（American Journal of Nephrology, Clinical Journal of the American Society of Nephrology, Clinical Kidney Journal, Journal of Renal Nutrition, Nephron, BMC Nephrology, BMJ Open, Scientific Reports）。2020.3.31現在、合計8件が進行中である。					
	副甲状腺機能亢進症のアウトカム研究支援（MBD-5D）	継続実施	法人事務所 および 研究協力施設	4人	患者10万人	3,520
	透析患者に頻発する合併症である二次性副甲状腺機能亢進症ならびに診療方針と患者アウトカムとの関連性を評価する3年間の臨床研究のプロトコール作成および解析論文化を行っている。本年度は、3件の論文を国際医学雑誌受理され、2件の論文が査読中である。2020.3.31現在、3件の論文が進行中である。					
	運動器臨床疫学研究（LOHAS）	継続実施	法人事務所 および 研究協力施設	3人	全国民	3,170
	福島県郡部において、特定健診と同時に運動器検診を実施し、運動器に関する症状と生活習慣病との関連性についての検討を行うコホート研究（運動器臨床疫学研究。Locomotive syndrome and Health outcomes in Aizu cohort Study; LOHAS）を運営している。本研究は福島県立医科大学と京都大学の共同研究であり、2008年度から10年間の計画でデータを収集し、データ解析・論文化を実施中である。					
透析診療ネットワーク	平成26年4月～	法人事務所 および 研究協力施設	8人	患者30万人	116,100	
複数の透析クリニックの臨床データを活用することによって、診療の質を向上させ、クリニックの診療活動を推進する、透析診療ネットワークを構築している。本年度は、12施設にネットワークシステムを導入し、更に5施設に対してネットワークへの参加契約を行った。						

	慢性血栓性肺高血圧症の質的研究	新規	法人事務所 および 研究協力施設	6人	患者 3,000人	7,740
	難病である慢性血栓性肺高血圧症について、その診断までの道のり (patient journey) と疾病負担を患者インタビューによる質的研究によって明らかにする研究を行っている。論文が国際医学雑誌に投稿中である。					
	外部向け倫理委員会	継続実施	法人事務所	8人	研究者20人	2,110
	法人外で企画された臨床研究の倫理審査を行う倫理委員会を運営している。本年は、透析診療ネットワークに関する計21件の審査を行った。					
	科学研究費助成事業	平成30年4月 ～ 令和3年3月	法人事務所 および 研究協力施設	4人	患者 1,000万人	1,300
日本学術振興会H30年度若手研究を獲得し、「糖尿病境界型が判明した人への意思決定支援ツールによる受診勧奨方法の開発と検証」を行った。						
臨床教育事業、 臨床研究者の育成事業、 また診療の質を向上させる書籍の出版	臨床医のための臨床研究てらこ屋セミナー	令和元年6月	東京都	20人	臨床医58人	884
	東京都日本橋にて開催した。58名の医師が全国から参加し、講師、ファシリテータ13名による講義、グループワークを提供した。受講者の高い満足度を得た。					
	家庭医療学領域における指導者育成のための高等教育プログラム	継続実施	法人事務所 および 協力施設	3人	家庭医療医 4人	1,227
	北海道家庭医療学センター、京都大学、iHopeが共同で企画・実施するfMAPを昨年に引き続き実施した。月2回のテレビ会議システムを用いたライブ討論と、遠隔での研究指導にて構成した。また12月には対面でのスクーリングを開催した。研究成果はプライマリ・ケア連合学会にて発表された。					
	系統的臨床研究遠隔学習プログラム (eMAP)	継続実施	遠隔学習	2人	医師を中心とした医療者 39人	430
	医療者がWebにより、臨床研究の系統的学習を行うeMAPを配信した。令和元年度は延べ39名に対して、eMAPコンテンツを提供し、これまでに440名以上が受講している。					
系統的臨床研究遠隔グループ学習プログラム (gMAP)	継続実施	遠隔学習	2人	医療者44人	2,332	

<p>講義ビデオでのオンライン学習に、グループワークと年間8回行うライブ討論を組み合わせた学習プログラム。今年度は4施設から7グループ、総勢44名が受講した。医師以外にも薬剤師、理学療法士、看護師など他職種からの参加があった。</p>					
米国ジョンスホプキンス大学MPH日本プログラム	通年	遠隔学習	4人	多領域臨床医 40人	11,784
<p>ジョンスホプキンス大学の修士相当の学位MPHを取得するコースを提供。令和2年3月に新たに10名が入学し、現在総勢40名が受講中である。</p>					
臨床研究てらこ屋in北海道	令和元年7月	札幌市	4人	多職種医療者 36人	945
<p>札幌市にて1日の臨床研究てらこ屋を開催した。36名の医療者が北海道はじめ全国から参加し、講師、ファシリテータ12名による講義、グループワークを提供した。受講者の高い満足度を得た。</p>					
臨床研究てらこ屋in富士見	令和元年8月	富士見市	2人	多職種医療者 35人	307
<p>富士見高原病院の医療従事者を対象に半日の臨床研究てらこ屋を開催した。35名が参加し、講師、ファシリテータ6名による講義、グループワークを提供した。</p>					
臨床研究計画支援アプリケーションQ-Mentorの頒布	継続実施	法人事務所	1人	臨床研究者 医療関係者 多数	430
<p>臨床研究計画をまとめた抄録の形に整理してくれるアプリケーション Q-Mentorを提供中。本アプリケーションを使用した研究計画の指導サービスも有料で実施中である。</p>					
地方の市立病院向けの臨床医学学習支援プログラム	継続実施	市立病院	1人	2人の臨床医 総合診療科	1,596
<p>和歌山県の市立病院に勤務する2名の臨床医に対して、臨床研究の学習支援、研究支援を包括的に行った。学習支援は当法人が提供し、メンタリング等は大学の専門教員に依頼して実施した。</p>					
臨床研究関連書籍の制作・販売	通年	法人事務所	4人	臨床研究者 医療関係者 多数	17,258
<p>「臨床研究のためのStataマニュアル第3版」「リサーチ・クエスチョンの作り方第3版」「臨床研究の道標第2版」「はじめてのメタアナリシス」を増刷したほか、「臨床研究の道標 英語版（オンデマンド出版）」を制作した。</p>					

	臨床研究去来夢の発行	継続実施	法人事務所	3人	臨床研究医 多数	1,350
	臨床研究の学習に役立つ臨床研究のエッセンスを題材にした、医師向けのコラム「臨床研究去来夢（第10号）」を1月に発行した。					
QOL事業※2	SF-8等マニュアルの販売	継続実施	法人事務所	1人	医師・研究者 多数	100

※1 研究事業：疫学研究、臨床研究の企画・実施・解析・論文化、「エビデンスー診療ギャップ」を測定・改善する研究、診断法の評価と研究（診断支援ツールを含む）、QOLなどのPRO（Patient-Reported Outcomes）測定尺度の開発と検証、個人及び団体に対する研究助成及び寄附事業

※2 QOL事業：SF-36をはじめとするQOL尺度の提供、QOL尺度の適切な利用を促進する活動（測定ツール・マニュアルの提供、セミナーの企画と実施など）、コミュニケーション事業（ホームページ運営、機関紙の発行）

令和元年度 活動計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構

(単位:円)

科 目	金	額
【A】 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	50,000	
賛助会員受取会費	2,115,000	2,165,000
2 受取寄付金		
受取寄付金	2,510,000	2,510,000
3 事業収益		
販売収入	27,042,911	
参加費収入	1,123,000	
業務受託収入	160,099,564	188,265,475
4 その他の収益		
受取利息	19,710	
その他の収入	4,332,310	4,352,020
経常収益計		197,292,495
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給与手当	49,494,873	
派遣費	1,331,224	
賞与	6,522,202	
法定福利費	8,426,360	
通勤交通費	2,065,215	
福利厚生費	0	
人件費計	67,839,874	
(2)その他経費		
期首棚卸高	6,374,455	
ライセンス料	2,608,885	
書籍製作費	5,623,772	
論文製作費	2,448,514	
合計	17,055,626	
期末棚卸高	8,167,084	
売上原価	8,888,542	
旅費交通費	8,745,224	
通信運搬費	2,814,846	
消耗品費	624,508	
修繕費	0	
印刷製本費	1,845,620	
交際接待費	884,137	
賃借料	548,950	
租税公課	34,000	
業務委託費	63,953,108	
リース・レンタル費	915,453	
外部報酬	15,587,499	
会議費	839,252	
諸会費	15,000	
図書教育費	234,719	
試験研究費	970,895	
広告宣伝費	0	
減価償却費	3,605,227	
支払手数料	4,479,292	
雑費	120,541	
その他経費計	115,106,813	
事業費計		182,946,687

2 管理費			
(1)人件費			
給与手当	7,978,708		
派遣費	4,395,751		
賞与	1,003,690		
法定福利費	1,987,447		
通勤交通費	951,285		
福利厚生費	461,160		
人件費計	16,778,041		
(2)その他経費			
ライセンス料	138,024		
旅費交通費	560,750		
通信運搬費	1,159,193		
消耗品費	2,051,767		
修繕費	0		
印刷製本費	168,221		
交際接待費	340,282		
光熱水料費	887,323		
賃借料	8,571,565		
管理諸費	1,883,706		
租税公課	5,086,350		
業務委託費	11,225,312		
リース・レンタル費	720,531		
外部報酬	30,000		
会議費	240,447		
諸会費	124,677		
図書教育費	15,076		
広告宣伝費	270,000		
減価償却費	470,689		
支払手数料	1,486,894		
雑費	139,732		
その他経費計	35,570,539		
管理費計		52,348,580	
経常費用計			235,295,267
当期経常増減額 【A】-【B】…①			-38,002,772
【C】 経常外収益			
経常外収益計			0
【D】 経常外費用			
固定資産除却損	2		
為替差損	268,179		
経常外費用計			268,181
当期経常外増減額 【C】-【D】…②			-268,181
税引前当期正味財産増減額 ①+②…③			-38,270,953
法人税、住民税及び事業税…④		831,700	
前期繰越正味財産額…⑤		171,468,583	
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤			132,365,930

令和元年度 貸借対照表

令和 2年 3月31日 現在

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構

(単位:円)

科 目	金 額	
【A】 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	161,657,849	
未収金	17,235,073	
前払金	2,010,000	
たな卸資産	9,139,136	
立替金	193,420	
預け金	2,500	
流動資産合計・・・①		190,237,978
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物付属設備	3,330,019	
什器備品	3	
有形固定資産計	3,330,022	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア	9,864,740	
無形固定資産計	9,864,740	
(3)投資その他の資産		
敷金	6,837,064	
投資その他の資産計	6,837,064	
固定資産合計・・・②		20,031,826
【A】 資産合計 ①+②		210,269,804
【B-1】 負債の部		
1 流動負債		
未払金	59,891,382	
前受金	51,920	
預り金	17,083,072	
未払消費税	877,500	
流動負債合計		77,903,874
負債合計		77,903,874
【B-2】 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		171,468,583
当期正味財産増加額		-39,102,653
正味財産合計		132,365,930
【B】 負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		210,269,804

令和元年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産は法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

無形固定資産は定額法で償却しています。

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	研究事業	教育事業	QOL事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1.受取会費	0	0	0	0	2,165,000	2,165,000
2.受取寄付金	0	300,000	0	300,000	2,210,000	2,510,000
3.事業収入	135,392,830	51,350,905	1,260,988	188,004,723	260,752	188,265,475
4.その他の収入	1,170,000	2,545,390	0	3,715,390	636,630	4,352,020
経常収益計	136,562,830	54,196,295	1,260,988	192,020,113	5,272,382	197,292,495
II 経常費用						
(1)人件費						
給与手当	43,372,696	6,122,177	0	49,494,873	7,978,708	57,473,581
派遣費	943,857	387,367	0	1,331,224	4,395,751	5,726,975
賞与	5,841,746	680,456	0	6,522,202	1,003,690	7,525,892
法定福利費	7,373,328	1,053,032	0	8,426,360	1,987,447	10,413,807
通勤交通費	1,610,553	454,662	0	2,065,215	951,285	3,016,500
福利厚生費	0	0	0	0	461,160	461,160
人件費計	59,142,180	8,697,694	0	67,839,874	16,778,041	84,617,915
(2)その他経費						
期首棚卸高	0	6,374,455	0	6,374,455	0	6,374,455
ライセンス料	0	2,608,885	0	2,608,885	138,024	2,746,909
書籍製作費	0	5,623,772	0	5,623,772	0	5,623,772
論文製作費	2,448,514	0	0	2,448,514	0	2,448,514
合計	2,448,514	14,607,112	0	17,055,626	138,024	17,193,650
期末棚卸高	0	8,167,084	0	8,167,084	0	8,167,084
売上原価	2,448,514	6,440,028	0	8,888,542	138,024	9,026,566
旅費交通費	7,117,831	1,627,393	0	8,745,224	560,750	9,305,974
通信運搬費	2,353,683	460,883	280	2,814,846	1,159,193	3,974,039
消耗品費	223,930	400,578	0	624,508	2,051,767	2,676,275
修繕費	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	741,948	1,103,672	0	1,845,620	168,221	2,013,841
交際接待費	470,089	414,048	0	884,137	340,282	1,224,419
光熱水道費	0	0	0	0	887,323	887,323
賃借料	3,240	545,710	0	548,950	8,571,565	9,120,515
保険料	0	0	0	0	0	0
管理諸費	0	0	0	0	1,883,706	1,883,706
租税公課	34,000	0	0	34,000	5,086,350	5,120,350
助成金支出	0	0	0	0	0	0
寄付金支出	0	0	0	0	0	0
業務委託費	58,225,532	5,727,576	0	63,953,108	11,225,312	75,178,420
リース・レンタル料	891,757	23,696	0	915,453	720,531	1,635,984
外部報酬	4,377,693	11,114,766	95,040	15,587,499	30,000	15,617,499
会議費	290,677	548,575	0	839,252	240,447	1,079,699
諸会費	15,000	0	0	15,000	124,677	139,677
図書教育費	142,938	91,781	0	234,719	15,076	249,795
試験研究費	970,895	0	0	970,895	0	970,895
広告宣伝費	0	0	0	0	270,000	270,000
減価償却費	2,849,947	755,280	0	3,605,227	470,689	4,075,916
支払手数料	3,908,404	570,888	0	4,479,292	1,486,894	5,966,186
雑費	100,141	20,400	0	120,541	139,732	260,273
その他経費	85,166,219	29,845,274	95,320	115,106,813	35,570,539	150,677,352
経常費用計	144,308,399	38,542,968	95,320	182,946,687	52,348,580	235,295,267
当期経常増減額	-7,745,569	15,653,327	1,165,668	9,073,426	-47,076,198	-38,002,772

令和元年度 計算書類の注記(続き)

3. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産					
建物付属設備	4,051,458			721,439	3,330,019
什器備品	722,240		307,549	414,688	3
無形固定資産					
ソフトウェア	25,181,736			15,316,996	9,864,740
投資その他の資産					
敷金	6,837,064				6,837,064
合計	36,792,498	0	307,549	16,453,123	20,031,826

令和元年度 財産目録

令和 2年 3月31日 現在

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構

(単位:円)

科 目	金 額	額
【A】 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	170,006	
三井住友銀行普通預金	157,614,068	
三菱東京UFJ銀行普通預金	100,745	
ゆうちょ銀行普通貯金	3,773,030	
未収金		
書籍販売未収金等	17,235,073	
前払金	2,010,000	
たな卸資産		
販売用書籍	8,167,084	
切手・レターパック	972,052	
立替金	193,420	
預け金	2,500	
流動資産合計・・・①		190,237,978
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物付属設備		
建物造作	3,330,019	
什器備品		
ノートPC他	3	
有形固定資産計	3,330,022	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア	9,864,740	
無形固定資産計	9,864,740	
(3)投資その他の資産		
敷金	6,837,064	
投資その他の資産計	6,837,064	
固定資産合計・・・②		20,031,826
【A】 資産合計 ①+②		210,269,804
【B-1】 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
ライセンス料	44,454,618	
その他経費	15,436,764	
前受金		
前受家賃	51,920	
預り金		
源泉所得税	271,815	
住民税	343,300	
預りライセンス料	16,467,957	
未払消費税	877,500	
流動負債合計		77,903,874
【B-1】 負債合計		77,903,874
【B-2】 正味財産合計 【A】-【B-1】		132,365,930

令和元年度 年間役員名簿

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	大木 孝太郎		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	寒川 詔三		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	上野 文昭		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
監事	上田 竜男		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
			以下余白	

社員のうち10人以上の者の名簿

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構

	氏名	住所又は居所
1	大木 孝太郎	[Redacted]
2	上田 竜男	
3	上野 文昭	
4	上羽 康夫	
5	大垣 敦則	
6	河村 由美	
7	佐田 憲映	
8	柴垣 有吾	
9	山崎 大	
10	竹島 太郎	
	以下余白	